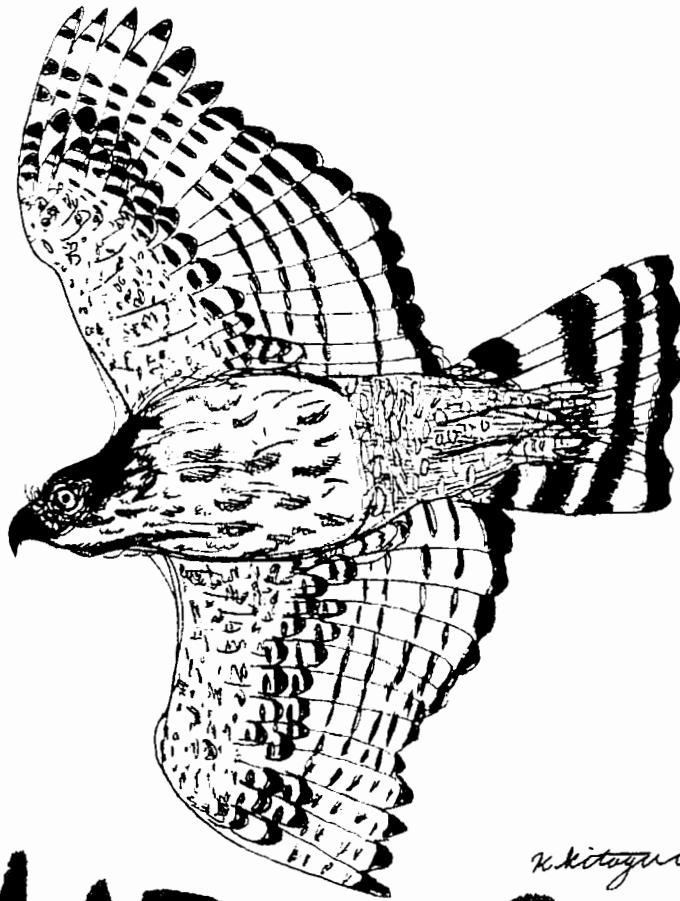


# しろとどろ



第 63 号

*K. Kitayama*

2010年3月 日本野鳥の会 三重県支部

[http://www.geocities.jp/sirochidori\\_mie/](http://www.geocities.jp/sirochidori_mie/)

## 湖北バスツアー

企画部 西村四郎

昨年12月12日(土) 支部会員を対象に湖北バスツアーを行いました。

当日は、小雨が降ったりするあいにくの天気となりましたが、42名の参加がありました。

11時頃琵琶湖水鳥・湿地センターに到着。係の方に施設の説明や、今見られる鳥の概要などを話していただきました。お昼を兼ねて、ここで14時頃まで観察しました。葛籠尾崎の方面で、オオワシが飛ぶ姿や、センターまえの湖面にアカハシハジロがプカプカ浮かんでいる姿が観察できました。



水田にて



ヒシクイ (亜種オオヒシクイ)

その後はバスに乗り、水田地帯へ。お目当てはハクガンです。延勝寺から海老江集落へと廻り、みんな必死の形相で、..やっと思つきました。

一同満足で帰路につきました。

今回アンケートも行ったのですが、他地区の方と交流できたこと、県外で普段みられない鳥を観察できたこと等、満足の回答が大半でした。



センターにて

### 湖北バスツアーの日程

日時 平成21年12月12日(土) 雨天決行  
場所 滋賀県湖北町

行程	宇治山田駅(西口)	6:30
	松阪駅(東口)	7:00
	津駅(西口)	7:30
	桑名駅(東口)	8:30

↓  
琵琶湖水鳥湿地センター、山本山など  
10:00 ~ 14:00頃



ハクガン (中央)

## 『湖北バスツアーに参加して』

中森 多聞 (御園小学校 4年)

今回の湖北バスツアーでは、ほくのまわりではあまり見られない野鳥をたくさん見ることができました。とくにオオヒシクイとかコハクチョウを見ることができたのがよかったです。

ほくが行く前に、インターネットでオオワシやコハクチョウが見れることがわかって楽しみにしていました。湖北野鳥センターに着くと、ビデオを見ながらここで見られる鳥について、詳しい説明をしてくださいました。コハクチョウは朝は湖にいますが、お昼前になると田んぼへ飛んでいってしまうそうです。ほくたちが見に行ったときは、もうコハクチョウは琵琶湖にはいなかったの、帰りにバスで田んぼへ見に行きました。夕方になるとまた湖に戻ってくるそうです。琵琶湖の湖にいるところも見つかったのです。



湖北野鳥センターの前が湖で、オオヒシクイやカモ類など、たくさんの鳥がいました。オオヒシクイは、ほくの家の近くにいるマガモやヒドリガモなどよりずっと大きかったです。飛んでいるところも見れて、とてもきれいでした。

オオワシは、山本山に止まっているところをフィールドスコープで見ました。とても遠かったけど、オオワシが大きいので見ることができてよかったです。

やっぱり三重県と滋賀県では見れる野鳥がぜんぜんちがうんだなあと思いました。その他にカワアイサ、ミコアイサ、カンムリカイツブリ、カルガモなどもいました。

それから絶滅危惧種のハクガンを見ることができて、すごくよかったなあと思いました。コハクチョウの中に一羽ハクガンがまじっていました。すごく見づらくて「もっとよく見たいな」

と思っていたら、おじさんがフィールドスコープで合わせて見せてくれて、すごくはっきりとわかりやすく見ることができました。ほくはおじいちゃんに買ってもらったカメラを持っていったので、コハクチョウとハクガンだけを必死でとりました。下に羽が落ちているのを見つけて、とりたいたいと思ったけどとれませんでした。三重の鳥というコサギ、チュウサギ、ユリカモメあたりの白くて大きな羽でした。



一度、ケンカをしていたコハクチョウが飛んだとき、すごくきれいでした。あわててカメラを合わせたけど、ピントもずれずにいい写真がとれたのでとてもうれしかったです。

そのコハクチョウは、しばらくしたらまたもとの田んぼへ降りてきました。

また、空にはチュウビが飛んでいました。田んぼではカラスに追われていました。琵琶湖から少しはなれた田んぼでは、カラスはよくトビを追いかけていて、トビはうっとうしそうでした。でも、すぐ近くにいたコハクチョウはぜんぜん気にしていませんでした。コハクチョウって強いのかなあと思って感心しました。

湖北野鳥センターの中には、コハクチョウのはく製や、セグロセキレイの巣までかざってありました。セグロセキレイの巣は、コケなどが多かったです。日差しがあたってコケがなくなることはないのかなあと思いました。

ほくがこの湖北バスツアーで一番良かったことは、まだ見たことがなかった鳥をいっぱい見ることができてうれしかったです。

またツアーがあつたら絶対に行きたいなあと思いました。

## バスツアーの感想

服部公子 (津市)

初めまして、服部公子と申します。会員歴十数年ですが去年までは「名ばかり会員」でした。探鳥会は退職後の楽しみに取ってあったんですが、退職を待っていたように股関節が痛み出し、挙げ句に手術リハビリと、探鳥会は遠のくばかりで…。

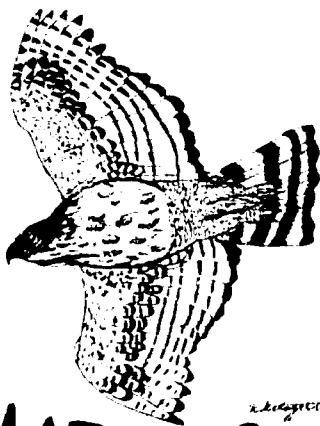
そんなわけで探鳥会への参加は今年5月から。4度目の参加の湖北バスツアーで、感想文を、といわれてしまい正直困っています。なにしろ、鳥の名前も顔(?)も見分けがつかないドシロウトなのですから。

湖北野鳥センターのガラス越しに、対岸の山中にオオワシがいると聞いても一向に見つけれず、センターの職員さんに「私のスコープの真ん中に入れて下さい。」とお願いし、確認できたあ

とは、目が痛くなるほど真っ白い点を見つめました。みんな同じように見えていたカモたちも、教えてもらって違いが分かってくると何だかワクワク。コハクチョウの群れの中に紛れ込んでいる一羽のハクガンも、双眼鏡でしっかり捉えることができ感激。ハクガンは何の違和感もなくコハクチョウの中でのんびりしているし、コハクチョウたちも仲間として受け入れているようで、ほのぼのと平和そのもの。何時までも眺めていたい風景でした。そしてバスの中も、鳥好きな人達の気さくで暖かい雰囲気にもまれて、とてもいい一日を過ごさせていただきました。

こんな、子どものような感想ですみません。

これから、鳥の名前と顔を一致させることができるように、いつも図鑑を携帯ししっかり見るよう努力しますので、やさしい先輩会員のみなさま、よろしくご指導お願いします。



北川和則 (多気町)

11月23日に白猪山で探鳥会があった。晴天の下、集まった人数は約30名。白猪山に風力発電ができるとのこと。その下見がてらにもようされたものです。中でも一番の目玉は、クマタカで山の尾根づたいを一羽のクマタカが飛び、その後木に止まり、皆感激。そんな風景を書いてみました。自然を残していきたいものです。

## 目次

湖北バスツアー	1
参加者の感想 中森多聞	3
服部公子	4
表紙の言葉	4
目次	4
白猪山臨時探鳥会	5
三重のミヤコドリ	6
野鳥記録	8
しろどり原稿募集	8
三重県に飛来したコウノトリの記録	9
事務局だより	10
理事会報告	10
探鳥会報告	11
編集後記	15

## 白猪山臨時探鳥会

白猪山を訪ねて

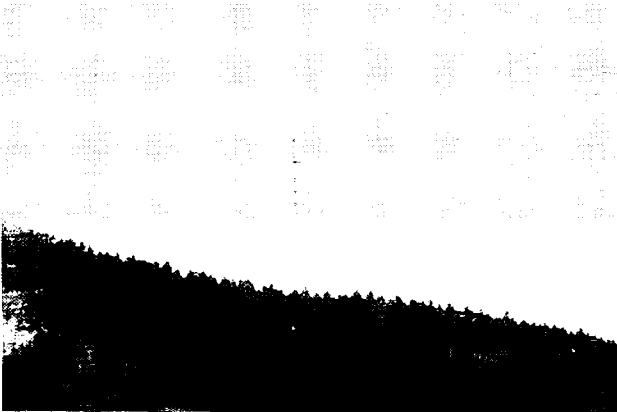
鳥羽市 川村晴彦

昨年11月23日に松阪市の白猪山(しらいさん)で行われた、日本野鳥の会三重県支部と日本熊森協会三重支部共催の臨時探鳥会に参加しました。

白猪山では株ジャネックスとクリーンエナジーファクトリー(株)の2社による風力発電計画が進められていますが、この地域には4つがいのクマタカが繁殖しているほか、サシバなどの渡りの重要なルートになっている可能性があります。

風力発電が鳥類に与える影響の代表的なものにバードストライクがありますが、北海道地方環境事務所によれば、オジロワシなどの絶滅の恐れがある鳥が風車に衝突死する事例は、2004年以降、少なくとも13件あるとのこと。

白猪山の稜線に建つ「風況調査用鉄塔」



同事務所によれば、白猪山で臨時探鳥会があった翌日の昨年11月24日には、国の天然記念物に指定されているオオワシの分断死体が、電源開発のグループ会社「グリーンパワー瀬棚」の風力発電施設付近で発見されました。調査の結果、この個体は風車の羽根に衝突して即死した可能性が高いとのこと。同事務所によるとオオワシの風車への衝突死としては道内初とのことですが、絶滅危惧種などの希少鳥類の死は、一個体の損失がその地域の個体群に大きな影響を与えるとされ、白猪山においても風力発電施設が建設されると、クマタカ(絶滅危惧種IB類・EN)への影響が危惧されます。

ところで当日は探鳥会に先立って、三重県教職

員組合の皆さんと白猪山の山麓を歩き、自然保護や風力発電が鳥類に与える影響などについてお話をする機会がありました。

教職員組合の皆さんと

白猪山北山麓 松阪市阪内町にて

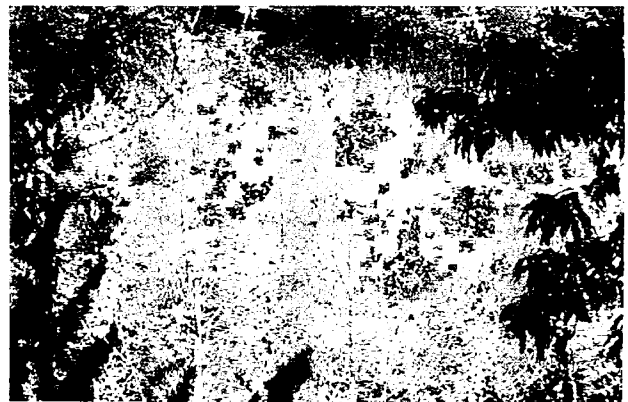


皆さんも風力発電や自然保護に高い関心をお持ちで、バードストライクや、騒音、低周波音による住民の健康被害、建設のための土木工事が引き起こす自然破壊などについてお話ししたところ、大変熱心に耳を傾けて下さいました。

教職員組合の皆さんとご一緒したのは時間の制約もあって半時間ほどでしたが、大変有意義な時間を過ごすことができました。

引き続き行われた臨時探鳥会は、野鳥の会と熊森協会の会員に加え、風力発電問題に熱心に取り組まれている松阪市議の海住議員も参加され、中日新聞の記者も同行取材されるなど、大変な盛況でした。

黄金色に輝く銀杏の群生 白猪山にて



野鳥を求めて白猪山に分け入り、40分ほど歩いた頃だったでしょうか、山道右手谷側の樹木が途切れ、対岸の樹林が見渡せる地点まで来

た時、誰かが突然「出た！」と叫びました。

クマタカです。私にとって2006年4月に鳥羽の行者山で初めてその姿を見て以来、4年目の再会でした。

そのクマタカは私たちの正面に見える対岸の木の枝に舞い降り、しばらく羽根を休めたあと飛び立ちました。幅広の大きな翼を羽ばたいて木の枝から離れた後、参加者が双眼鏡やカメラのファインダー越しに見守る中、ゆっくりと旋回して再び同じ木の枝にとまりましたが、それからは動かなくなりました。

木の枝に舞い降りるクマタカ



そのクマタカは、私たちが貴重な出会いを十分堪能してから探鳥の散策に戻り、その先の砂防堰堤で休憩している時にも姿を見せ、北の稜線を越えて去りました。

行者山で初めてクマタカに出会った時にも感じましたが、私にはクマタカが野鳥の会に助けを求めに現れたように思われました。

クマタカに限らず、日本の山野には多くの鳥獣が暮らしています。私たち人間が土地を所有し家を持つように、山野が彼らの棲みかであり生活の場なのですから、風力発電に限らず、大規模な自然破壊を伴う行為は厳に慎まなければいけない。遠回りで直接的ではないかもしれないけれど、でもきっとそれが私たち人間のためにも一番いいことなのではないかと・・・白猪山を歩き、クマタカと出会い、黄金色に輝く銀杏を眺めながらそんなことを考えました。

温室効果ガス(CO2)削減のためとして、風力発電所建設のために豊かな自然を破壊し、野生鳥獣の棲みかを奪い、希少種の生物を絶滅に追いやって、その結果得られるものは人為的に

制御できない劣悪な僅かばかりの電力、これはどう考えても利のある取引ではないと思うのは私だけでしょうか。

実は地球温暖化や温暖化の二酸化炭素犯人説については懐疑的な意見が多くあり、例えば東京工業大学の丸山茂徳教授(2006年紫綬褒章)は、地球は近い将来寒冷化し、2035年頃に寒冷化のピークが来るだろうと述べています。

丸山教授はその上で、将来への備えとしては、温暖化より解決が難しい、寒冷化対策を考えなければならないとしています。

またデンマークの統計学者で、環境問題について語る時避けては通れない人物の一人といわれるビョルン・ロンボルグ氏は、自著「地球と一緒に頭も冷やせ！」で、統計学的手法を駆使して、現在の温暖化問題の問題点を説いています。「地球と一緒に頭も冷やせ！」という、刺激的な邦題のつけられた本書は、訳文にも前後の文脈から考えて明らかに誤訳ではないかと思われる文章や、非常に難解な部分もありますが、少し我慢して読んでみれば、現在の温暖化騒動の問題点がよくわかります。

※ビョルン・ロンボルグ：デンマークのアーハウス大学準教授からデンマーク環境評価研究所長を経て現在はコペンハーゲンビジネススクール準教授。2001年に刊行した『環境危機を煽ってはいけない』(邦訳は文芸春秋で刊行)で世界的に大きな注目を集める。

鳥あわせ



環境保護の目的は、人類を含むすべての生物が、より快適により長くこの星で暮らしていきける状況をつくることであるはずで、ビョルン・ロンボルグ氏が説くように、限られた貴重

なりソースを有効に使うためには、最小の費用で最大の効果を生むことを優先すべきでしょう。

そのためには、莫大な費用がかかるが効果の少ない二酸化炭素削減について、もっと冷静になって考えてみる必要があります。

## 三重のミヤコドリ

岡 八智子 (津市)

すっかり津の冬の海辺の風物詩となったミヤコドリが今季も賑やかです。前季50羽突破で驚きましたが今年もさらに多いので満潮時河芸漁港・町屋一岡 八智子 志登茂川河口一田中洋子安濃川河口と海岸一今井光昌 香良洲・五主海岸一中村洋子(支部会員)の4名で同時カウントを1月23日に行い74羽を数えました。バカ貝が一番の好物で上手にその丈夫な嘴でこじ開け食べます。この津の海の豊かさを改めて思いました。

私の最初の出会いは1999年6羽からなので一度最初の飛来から知りたいと思い多田さん・久住さんにご協力頂きました。最初2羽の飛来には珍鳥!と大変だったと思います。

2003年頃からカメラを持つようになりミヤコドリとの出会いも多くなりました。秋、五主海岸に渡ってきて安濃川河口と行き来し、冬は安濃川河口に多く居るようです。なかなか満潮時に

白猪山の山麓に点在する農家と清らかな小川の流れ、丁寧に積み上げられた石積みが続く棚田など、日本の山村の原風景を見るようなこの里の暮らしが、いつまでも続いてほしいと思いつつながらこの地を後にしました。

全員集合写真を撮る機会が無く今となってもっときちんと記録しておけば良かったと反省です。一人の観察では全体の把握の正確性は難しいかもしれません。もっと違う観察記録をお持ちの方は支部までご連絡下さい。

又、伊勢の浜にも数羽飛来するようですがこのとは別かと思うのですが同時カウントしてないので分かりません。

又、越夏ミヤコドリも居ます。繁殖能力の無い幼鳥、若鳥、それとなんらかの障害のある個体です。これが不思議で最初は津近辺の浜に居ますが最後は鈴鹿川本流河口や派川で過ごすようです。秋に又渡って来た仲間と合流するのでしょうか? 昨年は津で留まり鈴鹿へ行かなかったようでこれも今回の記録で分かりました。

観察記録を提供して下さいました方にお礼申し上げます。

今季、他の冬鳥が少ないと思う中ミヤコドリの更新には嬉しい限りで、100羽突破も夢でないかも知れません。



三重県内で観察されたミヤコドリの記録

観察年月日	個体数	観察場所	観察者	備考
1995/3/19	2	五主海岸	久住勝司	
1995/4/24	4	五主海岸	多田弘一	内2羽 6/26終認
1996/10/29	4	五主海岸	久住勝司	
1996/11/9	4	五主海岸	多田弘一	12/25 1羽被弾
1997/11/23	4	五主海岸	久住勝司	
1998/11/24	5	五主海岸	久住勝司	
1999/1/31	6	霧出川河口	岡 八智子	
2000/11/11	16	五主海岸	久住勝司	
2001/12/16	16	五主海岸	久住勝司	
2002/12/26	16	五主海岸	久住勝司	
2003/2/25	19	安濃川河口	岡 八智子	
2003/3/21	20	安濃川河口	田中洋子	
2003/12/19	19	五主海岸	久住勝司	
2004/1/2	19	安濃川河口	田中洋子	
2004/2/15	26	安濃川河口	岡 八智子	
2005/2/21	32	安濃川河口	田中洋子	
2005/12/25	34	志登茂川河口	田中洋子	
2006/3/27	40	五主海岸	今井光昌	
2006/4/15	31	五主海岸	田中洋子	
2006/10/16	31	五主海岸	岡 八智子	
2007/1/3	33	五主海岸	田中洋子	
2007/1/29	43	志登茂川河口	岡 八智子	
2008/2/17	44	志登茂川河口	田中洋子	
2008/2/19	45	志登茂川河口	岡 八智子	
2008/12/20	53	安濃川河口	岡 八智子	町屋海岸清掃後6名で同時カウント
2009/1/19	57	安濃川河口	岡 八智子	
2009/3/27	57	安濃川河口	田中洋子	
2010/1/15	64	安濃川河口	田中洋子	時間のずれで移動で重複可能性あり
	18	河芸漁港北	田中洋子	
2010/1/23	66	安濃川河口	今井光昌	
			田中洋子	
	8	河芸漁港北	岡 八智子	

三重県内で観察された越夏ミヤコドリの記録

観察年月日	個体数	観察場所	観察者	備考
2002/6/27	3	津海岸	田中洋子	
2005/6/4	12	香良洲海岸	田中洋子	
2005/10/5	12	鈴鹿川本流河口	横山真一	
2005/11/25	3	鈴鹿川本流河口	横山真一	
2006/5/2	19	鈴鹿川本流河口	横山真一	
2006/5/21	13	鈴鹿川本流河口	田中洋子	
2006/8/3	2	鈴鹿川本流河口	岡 八智子	
2006/8/12	2	鈴鹿川本流河口	田中洋子	
2006/10/25	6	鈴鹿川本流河口	横山真一	前日29羽居たとか
2007/5/12	5	鈴鹿川本流河口	横山真一	
2007/7/27	2	鈴鹿川派川	横山真一	
2007/8/13	2	鈴鹿川派川	田中洋子	
2007/10/6	4	鈴鹿川本流河口	横山真一	
	4	鈴鹿川派川	横山真一	
2007/10/24	17	鈴鹿川本流河口	横山真一	
2008/6/18	14	鈴鹿川派川	横山真一	
2008/6/23	17	鈴鹿川派川	横山真一	
2008/7/4	17	鈴鹿川派川	田中洋子	
2008/7/20	17	鈴鹿川派川	横山真一	
2008/8/13	20	鈴鹿川派川	横山真一	
2009/7/30	13	安濃川河口	田中洋子	
2009/8/30	14	河芸漁港北	田中洋子	



## 野鳥記録 (2009年10月～2010年2月に報告のあったもの)

※表中の「報告者」は「初認者」ではない場合もあります。

種名	個体数	記録日	場所(通称など)	記録報告者	写真	備考
ツメナカセキレイ	1	2009 10 25	松阪市五主大池	西村四郎	○	
スグロカモメ	1	2009 11 23	楠町長大海岸	安達 直孝	○	
ウミウ	1	2009 11 23	鈴鹿市箕田のテトラ	安達 直孝	○	
シロカモメ	1	2009 11 23	伊勢市東大淀町の海岸	田中洋子	○	1
コクガン	4	2010 1 3	津市安濃川河口	岡 八智子	○	2
アメリカヒドリ	1	2010 1 7	伊勢市御園町上條ラブリバー公園	中森 多聞	○	3
オオハクチョウ	2	2010 1 10	津市芸濃町田野池	平井 正志	○	
ハイロチュウヒ	1	2010 1 10	多気町五桂 五桂池	小坂 里香	×	4
垂種チョウセンチョウゲンボウ	1	2010 1 13	御浜町志原	中井 節二	○	5
カワアイサ	1	2010 1 14	紀宝町成川	中井 節二	○	
カナダカモメ	1	2010 1/20	志登茂川河口及び白塚町町屋海岸	匿名希望	○	6
ヤマシギ	2	2010/1/22	御浜町志原	中井 節二	×	
ミヤコドリ	74	2010/1/23	津市内の海岸	岡 八智子	○	7
クロカモ	11	2010 2/7	伊勢市東大淀町の海上	田中洋子	○	8

- 備考1 2005年をはじめ初認(小坂里香)以降、毎年外城田川-宮川で記録あり、同一個体と思われる。当時成鳥(少なくとも4才)、現在推定9歳以上と思われる。
- 備考2 昨年から志登茂川河口に1羽来てるとの情報を聞いていました。段々その数を増やしたようです。いつもは雲出川河口へ来るのですが堤防の工事中なのでこちらに来たようです。
- 備考3 夕方の干潮時にヒドリガモの群れに混じていました。となりにいるメスはヒドリガモのメスで、オスは1羽だけではないかと思えます。※担当註:2008年2月18日に同地で記録あり(小坂)、同一個体と思われる
- 備考4 ガンカモ調査で観察。内陸の池での記録は珍しいと思ひ報告。
- 備考5 色が全体に白っぽい。昨年シーズンも、同じような個体がいる。多分同じ個体だと思える。
- 備考6 初列裏の白さ、嘴の小ささ、個体の小ささ、顔つき等、第一回で発見され昨年3月に私が第二回として初認した個体と同一と思われる。(非会員の報告、会員紹介あり)
- 備考7 9:30～10:00 津の海岸を4人で分かれて満潮時同時カウントしました。同時にカウントしないと全体がつかめないのが満潮時にやりました。継続的にこれからもやっていきたいと思ひます。 岡八智子-河芸漁港北-8羽 町屋海岸-0 田中洋子-志登茂川河口-0 田中洋子・今井光昌-安濃川河口-66羽 今井光昌-津海岸-0 中村洋子 香良洲・五主海岸-0 ※担当註:1月8日安濃川河口64羽の報告あり(中村洋子)
- 備考8 雄10雌1の群れで北へ向かって泳いでいました。  
※「備考」は、特に注意のない限り、報告者のコメントから抜粋したものです。

観察記録募集！支部のHP [http://www.geocities.jp/sirochidori\\_mie/index.htm](http://www.geocities.jp/sirochidori_mie/index.htm) から簡単に投稿できます。支部報に掲載できない記録もデータとして保存しています。ぜひご協力ください。

### しろちどり原稿募集

- 編集部では原稿を募集しています。鳥に関わるどのようなことでも結構です。  
挿絵なども募集します。  
締め切りは2010年4月15日です。  
原稿は、編集担当 近藤義孝まで E-mail:fwhy4368@mb.infoweb.ne.jp  
住所 〒511-0123 桑名市多度町北猪飼 521

## 三重県に飛来したコウノトリの記録(兵庫県立コウノトリの郷公園HPより抜粋)

<http://www.stork.u-hyogo.ac.jp/index.php>

兵庫県立コウノトリの郷公園(兵庫県豊岡市祥雲寺字ニヶ谷128番地)では、飼育個体に標識(足輪)をつけ放鳥しています。放鳥個体はGPSによる位置情報システムにより追跡が可能となっており、各地で放鳥個体が発見されていますが、三重県でも昨年末に一羽が飛来し、鳥羽市内などで観察されていたようです。その個体の記録をコウノトリの郷公園のホームページより一部お借りしました。

J0398が三重県で死亡しました

- 記 1 死亡個体 個体番号: J0398 性別: 雌 年齢: 4才  
足環: 青・黒緑青  
備考: 平成21年10月31日に唐川拠点から放鳥した個体
- 2 発見日時 平成21年12月29日(火)午前9時15分頃  
(住民より鳥羽市役所へ連絡有り)
- 3 発見場所 三重県鳥羽市浦村町内(とばしうらむらちよう)
- 4 発見後の経過 9:15 住民から鳥羽市役所あてコウノトリの死体発見の連絡あり  
その後鳥羽市役所農林水産商工課より当公園に連絡あり  
鳥羽市役所農林水産商工課職員等により足環及びマーキングを確認後收容  
その後、三重県中央家畜保健衛生所に搬送し、同所にて保管
- 5 個体の移動確認状況 神戸市西区伊川谷町 11/12  
和歌山県伊都郡九度山町 11/14  
和歌山県東牟婁郡串本町 11/18  
和歌山県東牟婁郡古座川町 11/20  
三重県北牟婁郡紀北町 12/13  
三重県鳥羽市浦村町 12/14



### 取扱商品

フィールドスコープ  
双眼鏡(小型・大型)  
天体望遠鏡  
カメラ(新品・中古)  
その他光学製品各種

### 取扱メーカー

KOWA・NIKON・FUJINON  
MIYACHI・VIXEN・PENTAX他

中部地区最大の光学製品専門店

## TELESCOPE CENTER EYEBELL

テレスコープセンターアイベル (株式会社アイベル)  
〒514-0801 津市船頭町3412(メガネのマスダ2F) TEL 059-228-4119  
定休日/毎週水曜日 営業時間/10:00~19:00  
ホームページ <http://www.eyebell.com> メールアドレス [eyebell@diamond.braba.cc](mailto:eyebell@diamond.braba.cc)

## 事務局だより

### 支部活動の記録（2009年10月～2010年1月）

10/29 「CEF 松阪飯南ウインドファーム事業」環境影響評価準備書に対する意見書をクリーンエナジーファクトリー株式会社へ提出

11/14 支部報「しろちどり第62号」発行・発送作業

12/12 県の委託事業「平成21年度防ダム環境調査その2委託」契約

12/14 県の委託事業「平成21年度ガンカモ類及びカワウ一斉調査事業委託」契約

2010年

1/12 松阪市風力発電計画について関係機関へ要望書を提出

#### ● これからの予定

3/1 支部報「しろちどり第63号」発行

3/7 第4回理事会

3 会計決算／委託事業まとめ作業

## 理事会報告

第2回（2009年11月15日）

津市雲出市民センター 出席者8名

#### 【協議事項】

#### ○松阪市白猪山風力発電（CEF松阪飯南ウインドファーム事業）

クリーンエナジーファクトリー株式会社の環境影響評価準備書に対し意見書を提出

11月23日の緊急探鳥会 23日以降に方向を決定

#### ○会則改正問題（改正案を添付）

名称変更とともに総会の定足数を会員の2分の1以上を削除する

この規則については民法で決めることなので、自由に設定できる

#### ○ガンカモ調査

調査地点で環境の変化で観察数が少ないところを削除する

#### ○バスハイク

#### ○白塚海岸問題

白塚海岸に松を植える人（当初は自費）がいる

津市や三重県へ海岸部分のマツを抜くように指導するように申し入れる

海岸に植えた外来植物も撤去するように申し入れる

#### ○来期の体制

概ね現状どおり

新しい理事候補を考えておく

#### ○その他

小鳥屋でオオルリ・メジロなどを販売 警察へ告発

座礁フェリーの油流失による野鳥への被害に対応できるようにする

高松海岸の上を通る道路建設について 総会で反対を表明する



## 探鳥会報告 (09年10月～10年1月)

### ● 伊勢タカ渡り探鳥会

2009年10月1日(木) 7:30～10:30

伊勢やすらぎ公園

吉居 清 竹林 康 参加者15名(会員10名)  
ミサゴ(2)※、ハチクマ(1)、トビ(5)※、サシバ(67)、  
ハヤブサ(1)、チゴハヤブサ(1)、キジバト、アマ  
ツバメ、アオゲラ(2)、ヒヨドリ(>200)、モズ、  
イソヒヨドリ(1)♂ (1)♀、ヤマガラ、ハシボソ  
ガラス、ハシブトガラス。計15種

(注) タカ類の※は渡りでないもの

(1) タカの数少なく残念

(2) タカを中心に見ているのでタカ以外の鳥は  
見落としの可能性大。

(3) 鳥以外の生物ではノウサギ1羽、ツクツク  
ボウシがまだ鳴いていた。

### ● 伊勢タカ渡り探鳥会

2009年10月2日(金)

伊勢やすらぎ公園 吉居 清 竹林 康  
雨のため中止

### ● 伊勢タカ渡り探鳥会

2009年10月3日(土) 7:30～10:30

伊勢やすらぎ公園

吉居 清 高木和夫 参加者16名(会員11名)  
アオサギ、ミサゴ(2)※、ハチクマ(1)、トビ(2)※、  
サシバ(14)、チゴハヤブサ(2)、アマツバメ、ツバ  
メ、セグロセキレイ、モズ。計10種

(注) タカ類の※は渡りではないもの

(1) タカの数、10月1日より更に少なく残念!!  
唯一面白かったのはトンボを捕まえたチゴハ  
ヤブサ

(2) タカ以外の鳥は見落としの可能性あり。

### ● タカ渡り探鳥会

2009年10月3日(土) 8:00～12:00

松阪市飯南町 相津峠

西村四郎 中西 章 参加者13名(会員12名)  
トビ、サシバ、クマタカ、キジバト、アマツバメ、  
アオゲラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、モズ、  
ヤマガラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、カケ  
ス、ハシブトガラス。

計16種

朝のうちは小雨でしたが、8時頃から晴れて霧  
がとれてきました。

サシバは飛んでくれましたが、この日は飛ぶコ  
ースが相津峠と違ったのか遠くて双眼鏡でもゴ  
マ粒でした。

小鳥類の渡りはツバメ、イワツバメ、アマツバ  
メが観察できました。

### ● 鳥羽行者山タカワタリ探鳥会

2009年10月4日(日) 7:00～10:00

鳥羽市船津町 鳥羽消防署空地

川村晴彦 中村徳次郎 参加者8名(会員8名)  
カワウ、アオサギ、カルガモ、コガモ、ミサゴ、  
ハチクマ、トビ、ツミ、サシバ、チゴハヤブサ、  
クサシギ、イソシギ、タシギ、キジバト、アマツ  
バメ、カワセミ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨド  
リ、モズ、ノビタキ、ウグイス、スズメ、ハシブ  
トガラス、コジュケイ。計25種

晴天に恵まれて大変気持ちよくタカワタリを  
観察することができました。小規模ですがタカ柱  
も見ることができ、タカ類はサシバをはじめ5種  
類観察できました。

### ● 市木川探鳥会

2009年10月11日(日) 9:00～12:00

市木川周辺

中井節二 清水勝海 参加者5名(会員3名)  
カワウ、アオサギ、カルガモ、トビ、チョウゲン  
ボウ、イソシギ、キジバト、カワセミ、ツバメ、  
イワツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロ  
セキレイ、ヒヨドリ、モズ、ノビタキ、イソヒヨ  
ドリ、メジロ、ホオジロ、スズメ、ハシボソガラ  
ス、ハシブトガラス。計22種

参加人数が少なかったです。鳥の数も少なか  
ったけれどもノビタキは10羽以上いました。又、  
チョウゲンボウは真上を飛んでくれて一同感激  
でした。

### ● 町屋浦ミュビシギ探鳥会

2009年10月18日(日) 10:00～12:00

津市町屋浦

平井正志 参加者 10 名 (会員 10 名)

カワウ、ダイサギ、コサギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ウミネコ、ヒバリ、ハクセキレイ、モズ、ジョウビタキ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ドバト。計 14 種

(上記の種に加えて、安濃川河口で観察された鳥)

アオサギ、マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミヤコドリ (36 羽)、シロチドリ、ハマシギ、ミュビシギ。合計 23 種

快晴であり、風も弱く、絶好の探鳥会日和であった。参加者は 10 名とややさびしかった白塚漁港に集合、めあてのミュビシギがないので、漁港付近の砂浜に降りて、カモメ類を観察した。ウミネコ、セグロカモメ、ユリカモメであった。渡ってきたばかりのジョウビタキも見つけた。鳥が少ないのでその後、安濃川河口右岸へ移動、そこでは 36 羽のミヤコドリの群れ、シロチドリ、ミュビシギ、カモ類などを見ることができた。驚きは小学 4 年生の熱心な会員、ハシボソガラス、ハシブトガラスも見分ける。しかし、ミヤコドリを初めて見るようであった。将来が楽しみである。

#### ● 木曾岬干拓地探鳥会

2009 年 10 月 25 日 (日) 9:00~12:00

弥富市 共催団体/愛知県野鳥保護連絡協議会  
加藤倫敦 参加者 14 名 (会員 4 名)

カイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ミサゴ、オオタカ、ノスリ、チョウゲンボウ、キジ、ケリ、クサシギ、イソシギ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、セッカ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ドバト。計 32 種

穏やかな秋の一日、暑くもなく、寒くもなく気持ちいい一日。台風が近づいてきているせいか薄曇りで、鳥の姿を鮮明に見ることにはやや不向きな天候だったが、ノスリとカラス、チョウゲンボウとカラスのバトルなども見られ、参加者からは「良かった」の声しきり。参加者が少なかったのが残念。チョウゲンボウの雌が、電線や田圃の杭に止まっていて、じっくり見ることができた。

#### ● 中村川探鳥会

2009 年 11 月 8 日 (日) 9:30~11:30

松阪市嬉野一志町 (中村川中流域)

小野新子 竹川華子 参加者 24 名 (会員 20 名)

カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、トビ、キジ、イカルチドリ、オジロトウネン、イソシギ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ウグイス、メジロ、ホオジロ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス。計 28 種

穏やかな観察日和となり、県内外から多くの方が参加して下さった。観察池は先の 18 号台風で川が増水し堤防ストレスで水位が上がった様子があり、中州の草木もなぎ倒されたままの無惨な状態だった。目的のオジロトウネンは前日までは 5 羽確認されていたが当日は 1 羽しか確認できなかった。厳しい環境の中で懸命に生きる鳥達の姿を辺りの景色と共に感じながら無事観察会を終える事が出来た。

#### ● 香良洲海岸探鳥会

2009 年 11 月 14 日 (土) 10:00~12:00

香良洲海岸

今井光昌 岡八智子 参加者 11 名 (会員 11 名)

カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ミサゴ、トビ、オオバン、シロチドリ、ダイゼン、ハマシギ、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、ウミネコ、キジバト、ヒバリ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス。計 35 種

早朝迄の大雨が、探鳥会前にはあがりましたが、時々雲が流れてくる。絶好の探鳥会日和とはならなかった。

海鳥はミヤコドリを除けば予測通りだが、香良洲公園の松林の小鳥ビンズイなどが全くふるわなかった。それでも 35 種まあまあかなと思う。

#### ● 木曾岬干拓地探鳥会

2009 年 11 月 22 日 (日) 9:00~12:00

弥富市 共催団体/愛知県野鳥保護連絡協議会

近藤義孝 米倉 静 参加者 15 名 (会員 10 名)  
カイツブリ(7)、カワウ(20)、ダイサギ(3)、コサギ  
(2)、アオサギ(2)、マガモ(15)、カルガモ(50)、コ  
ガモ(200)、オカヨシガモ(15)、ヒドリガモ(3)、ホ  
シハジロ(1)、キンクロハジロ(11)、ミサゴ(5)、オ  
オタカ(2)、ノスリ(1)、チュウヒ(4)、キジ(1)、ク  
サシギ(2)、イソシギ(2)、ユリカモメ(3)、キジバ  
ト(10)、ヒバリ(6)、ハクセキレイ(10)、タヒバリ  
(20)、ヒヨドリ(20)、モズ(6)、ジョウビタキ(1)、  
イソヒヨドリ(1)、ツグミ(8)、ウグイス(1)、ホオ  
ジロ(10)、カワラヒワ(1)、スズメ(200)、ムクドリ  
(200)、ハシボソガラス(100)、ハシブトガラス(10)、  
ドバト(60)。計 37 種

探鳥会が始まってすぐに、イソヒヨドリが現れ  
た。木曾岬干拓地の中は猛禽類がたくさんいた。  
特にオオタカは観察地点の近くの木にとまっ  
ていた。

#### ● 臨時探鳥会 (白猪山)

2009 年 11 月 23 日 (月) 9:30~12:00

松阪市阪内町 共催団体/日本熊森協会

西村 泉 中村洋子 参加者 34 名 (会員 28 名)  
トビ、クマタカ、キセキレイ、ハクセキレイ、セ  
グロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、カワガラス、ジ  
ョウビタキ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジ  
ュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、ハシボソ  
ガラス。計 17 種

白猪山は風力発電建設計画の予定地です。急き  
ょ企画した探鳥会にもかかわらず県外からもた  
くさんの方が来てくれました。野鳥の種類は少な  
かったものの、クマタカが出現し、参加者全員が  
じっくり観察できました。クマタカが木に止まっ  
たり、飛翔する様子を心ゆくまで楽しみました。  
翌日の中日新聞にこの探鳥会の記事が写真入り  
で掲載されました。地域や関係機関に対して少  
しはアピールできたのではないかと思います。

#### ● 海蔵川探鳥会

2009 年 11 月 24 日 (火) 9:40~12:00

四日市市西坂部町

尾畑玲子 高 和義 参加者 12 名 (会員 10 名)  
カイツブリ(6)、カワウ(30)、アオサギ(1)、  
カルガモ(18)、コガモ(1)、オオタカ(1)、バン(4)、  
キジバト(7)、カワセミ(4)、ヒバリ(1)、ハクセキ

レイ(4)、セグロセキレイ(3)、ヒヨドリ(7)、モ  
ズ(1)、ジョウビタキ(1)、ツグミ(1)、ウグイス  
(1)、ホオジロ(1)、アオジ(3)、カワラヒワ(14)、  
シメ(2)、スズメ(18)、ムクドリ(3)、ハシボソガ  
ラス(1)、ハシブトガラス(1)。計 25 種

本日のいちおしバードはカワセミ。2羽が川上  
から川下へ。そのあと 1羽が追いかけるように、  
さらにもう一羽の計 4羽を見た。彼らが行ったり  
来たりするたびに歓声があがり、見えるところ  
にとまってくれないので溜息がもれていた。

海蔵川にはヌートリアも住んでいる。しばらく  
お目にかかれなかったのだが、今日はなんと！親  
子づれ(成 1 幼 2)。さらわれものの帰化種とはい  
え母ちゃんを追う子どもはヒトと同じく可愛い。  
ここで繁殖していることが確実にあった。

#### ● 員弁川探鳥会

2009 年 11 月 29 日 (日) 9:00~12:00

いなべ市 員弁川

近藤義孝 参加者 12 名 (会員 4 名)

カイツブリ、カワウ、アオサギ、オオタカ、イカ  
ルチドリ、ケリ、クサシギ、イソシギ、キジバト、  
カワセミ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキ  
レイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグ  
イス、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カワラ  
ヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハ  
シブトガラス、ドバト。計 27 種

近くでオオタカを観察することができた。た  
くさんのツグミやカシラダカなど冬鳥も多く見  
ることができた。

#### ● ベルファーム探鳥会

2009 年 12 月 6 日 (日) 9:30~11:30

松阪農業公園ベルファーム

鈴木茂子 谷口ひろ子 参加者 20 名 (会員 17 名)  
カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、マ  
ガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒ  
ドリガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キン  
クロハジロ、ミサゴ、オオタカ、オオバン、  
カワセミ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、  
ツグミ、ウグイス、メジロ、カワラヒワ、  
スズメ、ハシボソガラス、ドバト。計 26 種

四つの池のうち、観察のメインとなるはずの  
四郷池の土手の工事のため、水がなく、いつもカ  
ワ

セミの見られるとなりの小さな池にも行けないと言う。条件のもとで、悪条件をはね返すような晴天に恵まれ、鳥たちの羽の色も美しく、他の2つの池にはカモの総数こそ少なかったのですが、下見のときには見れなかったダイサギ、アオサギも入っており、空にはミサゴ、オオタカも飛び、計26種の鳥たちを観察する事が、出来ました。何ヶ月も干上がってしまった灌漑用の池に来年水鳥たちはどんな風にもどって来てくれるのでしょうか？

### ● 神路ダム探鳥会

2009年12月13日(日)9:30~11:00

神路ダム

林 淳子 参加者17名(会員15名)

カイツブリ、カワウ、アオサギ、オシドリ、マガモ、カルガモ、キンクロハジロ、トビ、アオバト、ハクセキレイ、ヒヨドリ、シジュウカラ、メジロ、ハシブトガラス。計14種

風が強く、ダムに通じる雑木林の小径でも、ダムの周囲の林にも鳥影は見られずメジロ、ヒヨドリ、シジュウカラの数羽のみ。湖面は白波が立つ状態でオシドリも対岸の岸辺にへばりついて見づらかったがオシドリはきれいだった。オシドリ以外のカモも種類も数も年々増しているようだ。

### ● 安濃ダム探鳥会

2009年12月23日(水・祝)10:00~12:00

安濃ダム・横山池

岡 八智子 橋本 勇 参加者17名(会員14名)

カイツブリ、カワウ、アオサギ、オシドリ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、トビ、ノスリ、オオバン、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、ホオジロ、カシラダカ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス、ドバト。計31種

数日前の寒波も和らぎ当日は暖かで静かな湖面でしたが、オシドリが数羽しか居なかった。なんと眼下に電動釣りボートが出現し飛んでしまった。ここは禁漁区なのに残念です。10年前は200羽近く居たのに年々減り今年で見取めではと心配です。横山池へ移動。ミコアイサのオス、メ

ス、オオジュリン、ノスリが慰めてくれました。

### ● 木曾岬干拓地探鳥会

2009年12月27日(日)9:00~12:00

弥富市 共催団体/愛知県野鳥保護連絡協議会

近藤 義孝 米倉 静 参加者29名(会員11名)

カイツブリ(15)、カワウ(20)、ダイサギ(2)、コサギ(1)、アオサギ(1)、マガモ(70)、カルガモ(150)、コガモ(300)、オカヨシガモ(4)、ハシビロガモ(27)、ホシハジロ(30)、キンクロハジロ(35)、ミコアイサ(2)、ミサゴ(4)、トビ(1)、ノスリ(4)、チュウヒ(2)、チョウゲンボウ(1)、オオバン(2)、ケリ(3)、タゲリ(6)、クサシギ(3)、イソシギ(4)、タシギ(1)、ユリカモメ(1)、セグロカモメ(1)、カモメ(1)、ウミネコ(1)、キジバト(4)、カワセミ(1)、ヒバリ(4)、ハクセキレイ(7)、セグロセキレイ(1)、タヒバリ(10)、ヒヨドリ(30)、モズ(1)、ジョウビタキ(3)、ツグミ(1)、ウグイス(1)、メジロ(5)、アオジ(2)、カワラヒワ(6)、ベニマシコ(1)、スズメ(100)、ムクドリ(35)、ハシブトガラス(100)、ハシブトガラス(15)、ドバト50。計48種

今回でこの探鳥会が202回目。1993年3月から毎月1回ずつ行われ、今年の10月に200回に達成していたのに気がつかなかった。いつもたくさんさんの鳥が、観察できるこの場所の環境が保ち続けられ、300回400回と探鳥会が続けられるように頑張っていきたい。

### ● 木曾岬干拓地探鳥会

2010年1月24日(日)9:00~12:00

弥富市 共催団体/愛知県野鳥保護連絡協議会

近藤 義孝 米倉 静 参加者29名(会員13名)

カイツブリ(10)、カワウ(300)、ダイサギ(2)、アオサギ(2)、マガモ(3)、カルガモ(20)、コガモ(200)、オカヨシガモ(30)、ハシビロガモ(10)、ホシハジロ(30)、キンクロハジロ(50)、ミサゴ(6)、トビ(1)、ノスリ(4)、ハイイロチュウヒ(1)、チュウヒ(4)、コチョウゲンボウ(1)、キジ(8)、オオバン(1)、イカルチドリ(1)、タゲリ(2)、クサシギ(2)、イソシギ(2)、キジバト(10)、カワセミ(2)、アカゲラ(1)、ヒバリ(10)、ハクセキレイ(7)、タヒバリ(20)、ヒヨ

ドリ (10)、モズ (3)、ジョウビタキ (5)、シロハラ (4)、ツグミ (11)、ウグイス (2)、メジロ (2)、アオジ (3)、オオジュリン (2)、スズメ (160)、ムクドリ (50)、ハシボソガラス (50)、ハシブトガラス (10)、ドバト (25)。計 43 種

この探鳥会が行われた日の夜にNHKの番組「ダーウィンが来た」でチュウヒを取り上げた。探鳥会で観察していたことが映像になってきた。

### ● 大淀海岸カモメ探鳥会

2010年1月31日(日) 9:30~11:10

多気郡明和町 大淀海岸

中西 章 中村 洋子 参加者20名(会員19名)  
カイツブリ、ハジロカイツブリ、カワウ、アオサギ、マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、ミサゴ、シロチドリ、ハマシギ、ミユビシギ、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、キジバト、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ビンズイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、ツグミ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ドバト。計 32 種

当日は、風もなくおだやかな探鳥会日和であったが、目的のカモメは数、種類共に少なかった。だが、セグロカモメとオオセグロカモメの違いや幼鳥から成鳥への過程を観察することができました。またシロチドリの中にミユビシギ1羽が混じっていた。ミユビシギは松阪より南の海岸ではほとんどみられないのでめずらしい。

### ● 余野公園探鳥会

2010年1月31日(日) 9:30~12:00

余野公園

前澤 昭彦 塗矢 尋一 参加者7名(会員4名)  
ハクセキレイ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アトリ、ウソ、スズメ、ハシブトガラス、コジュケイ。計 16 種

集合してまもなく小雨が降り出したため野鳥の見られるカフェで有名な「アゼリア」さんへ移動してコーヒーを飲みながら、窓辺の餌台に来る野鳥を観察。鳥談議に花を咲かせた。雨上がり野外へ。40分ほど散策して、最後にウソに出会えて、参加者全員ハッピーな半日でした。

### 編集後記

今日のニュース(2/21)で、鳩山首相は引退後に農業をやりたいと、小学生が食料自給率について考えるイベントで言ったそうです。

私も、両親も高齢になり、少しずつ田畑で農業をするようになりました。小学生の頃、かまどでご飯を炊いたのを覚えています。風呂のたき付けに雑木の枯れ枝や松葉を集めて使いました。スローライフを実践できるようになったら、ぜひやってみたいです。まずは、外国から輸入した小麦でつくったパンを食べるより、自分がつくったお米を食べようと思います。

Y.K.

### しろちどり 63号

2010年3月1日発行

題 字 : 濱田 稔

表紙絵 : 北川和則

カット : 坂元伸治

写真 : 中森多聞 西村四郎 川村晴彦 岡八智子

編 集 : 近藤義孝

511-0123 桑名市多度町北猪飼521

発行所 : 日本野鳥の会三重県支部

平井正志方

514-2325 津市安濃町田端上野910-49

[http://www.geocities.jp/sirochidori\\_mie/](http://www.geocities.jp/sirochidori_mie/)

印 刷 : 東海出版(有)

510-0885 四日市市日永4丁目5-48